

第2号様式

学校運営協議会実施報告書（兼）議事録

狛江市立狛江第四中学校長 佐伯 英徳

狛江市立狛江第五小学校長 細谷 俊太郎

狛江市立緑野小学校長 亀田 親子

会議	令和 <u>5</u> 年度第 <u>3</u> 回 <u>四</u> 中ゾーン学校運営協議会
実施日時	令和 <u>6</u> 年 <u>2</u> 月 <u>20</u> 日 <u>9</u> 時 <u>30</u> 分 ～ <u>11</u> 時 <u>40</u> 分
<p>1 議題</p> <p>(1) 学校の現状報告</p> <p>1 会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の反省を踏まえ、次年度に向けてよろしく願いいたします。 <p>2 学校の現状報告・協議（五小・緑小・四中）</p> <p>【五小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動は、順調に進んでいる。 ・卒業式に向けて、学習のまとめなどに取り組んでいる。 <p>【緑小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の発表を通して、認め合う姿が増えた。 ・2月には、ゲストティーチャーを招き、学習への興味関心を高めている。 <p>【四中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年はスキー教室、2年は鎌倉校外学習に行き、3年の修学旅行の素地を育んだ。 ・3年は、進路が決まるまで応援していく。 <p>【千葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑野小学校の発表では、特別支援学級の教員の配慮が素晴らしいと感じた。 ・四中の公開授業では、多くの参観者がいる中、子供たちが集中していてよかった。 <p>【内海】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四中の研究発表では、参加型の講演で分かりやすくてよかった。 <p>【梅本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑野小の研究発表では、講師の方から貴重な話を聞くことができよかった。 <p>4 学校評価等について</p> <p>【五小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組目標と成果目標を分けていく方向で検討していく。 ・設問の在り方や内容などは、検討していく必要があると考えている。 ・教員、児童、保護者の言葉遣いについて考える機会を検討したい。 ・授業のスタイルは、児童が課題を見付け、学習計画を立て、学習方法を選択し、学んでいくようにしていく。 ・宿題の在り方は、保護者、地域の方と検討していきたい。 ・学校運営協議会の委員の皆様のお力も借りし、海外との交流を進めていく。 	

【豊島】

- ・地域に住む外国の人との交流を行うこともよいと思う。

【佐野】

- ・小学生は学校に行くのが楽しいと思うことが大事である。児童が楽しいと思えるようにしてほしい。

【三野】

- ・家庭学習は、子供自らが進めるのは難しいと思うので声掛けが必要かと思った。

【内海】

- ・言葉遣いは、保護者も気にしなければいけないなと思った。

【石賀】

- ・学校の現状を理解することができた。

【梅本】

- ・家庭学習は、保護者との理解が大事だなと感じた。

【住友】

- ・流暢ではないと、口に出してはいけないと思っている人が多い。恥ずかしいから言えないは取っ払いたい。思っていることを伝える訓練が必要ではないかと思う。
- ・小学校で、TGGと同じような活動をしていきたい。

【千葉】

- ・五小の児童は、粘り強くやっている印象がある。

【石賀】

- ・五小の取組や委員の話から作法の話が多いと感じた。学校に来られない子がいるのは、同調圧力があるのではないか気になった。

【四中】

- ・次年度の学校評価の在り方は、五小とも検討し進めていく。
- ・授業実施率は、計画どおり進んでいる。
- ・主体的に学ぶ力については、研究の余地がある。
- ・生徒の授業アンケートでは、生徒の振り返りがよりできるようにしていく。
- ・スピーキングでは、特典も高く、成果を挙げることができた。
- ・タブレットの接続は、市に更なる改善をお願いするとともに、研修を積んでいく。
- ・家庭学習は、毎日、塾や習い事を除き1時間実施するとしていたが、課題を明確にするため、アンケート項目を見直すことが必要であると感じている。
- ・部活動は、地域移行の動向を注視していく。
- ・所見をなくして、3者面談の見直しを図った。
- ・いじめについては、軽微ないじめも見逃さないよう取り組んでいる。
- ・キャリア教育については、小中連携しながら、系統的に取り組んでいる。
- ・今年は、1年生を対象にCSの委員にもご協力いただき、職業講話を実施した。
- ・業務などは、改善していく。

【千葉】

- ・家庭学習は、宿題だけではない。子供たちは学んでいる。好きなことをやることも学習ではないか。自分が好きなことを学習することも必要ではないか。

【住友】

- ・家庭学習は、予習、復習だけではなく、多様な学びもあると投げ掛けてもよい。

【五小】

- ・家庭学習は、保護者の意識も変えていく必要がある。
- ・学校運営協議会でも考えていく必要であると思う。

【石賀】

- ・学習と勉強は違う。言語の整理が必要であると感じた。各校で整理してほしい。

5 その他（令和6年度の学校運営協議会などについて）

【四中】

- ・令和6年度は、上限を5回とすることができるので、熟議をすることができると考えている。
- ・令和6年度は、回数が増える

【山田】

- ・四中ゾーンの特色や課題、目標を熟議し設定することが必要ではないか。

6 事務連絡

- ・本日の授業参観について
- ・令和6年度以降の連絡について

7 閉会